



三菱 IH クッキングヒーター (家庭用)

販売店・据付業者様用

据付説明書

形名

- RE-321SR
- RE-C321SR
- RE-C321KR
- RE-322SXR

- RE-221SR
- RE-C221SR
- RE-C221KR

据付けされる方へのお願い

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。据付けの前に、この説明書を必ずお読みください。
- ガス事業者への連絡をせずにガス工作物(ガス配管、ガスメーター、ガス栓等)を無断に撤去することは法令により規制されておりますので、事前にガス事業者への連絡が必要となります。
- レンジフード(換気扇)を連動させる場合は、必ず指定の赤外線式レンジフード連動システム対応のレンジフードを取り付けてください。
- この説明書は、必ずお客様にお渡しください。
- 据付け完了後に試運転を行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。

●この説明書では、イラストを簡略化しておりますので製品と一部異なります。

もくじ

1：据付け前に

- 1-1. 安全のために必ずお守りください ……2
- 1-2. 使用部品(同梱品・別売部品) ……3
- 1-3. 使用箇所 ……3
- 1-4. 外形寸法図 ……4
- 1-5. 据付け場所の選定 ……5
- 1-6. 据付け制約 ……6

据付け前に

2：電気工事

- 2-1. 専用回路と漏電遮断器の設置 ……7
- 2-2. コンセントの設置 ……7

電気工事

3：据付け

- 3-1. 据付け前の準備 ……8
- 3-2. 本体の据付け ……8
- 3-3. 同梱品の取り付け(1) ……9
- 3-4. 本体とキッチンの固定 ……11
- 3-5. 同梱品の取り付け(2) ……11
- 3-6. 据付け後の確認 ……12

据付け

4：試運転

- 4-1. 試運転手順 ……12
- 4-2. レンジフード(換気扇)の連動設定手順 ……15
- 4-3. 総消費電力の切り替え手順 ……15
- 4-4. お客様への説明 ……16

試運転

※必ず取り付ける

取っ手取付ネジ・ネジキャップ

1: 据付け前に

1-1. 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

■図記号の意味は次のとおりです。

警告 死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	禁止	分解禁止	接触禁止
注意 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの	アース線を必ず接続せよ	指示に従う	

警告	
禁止 トッププレートに衝撃を加えない 万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因 ※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたりしない	指示に従う 据付けは、販売店または専門の工事店が実施する 間違った据付けは、事故の原因 お客様ご自身での据付けは、事故の原因
分解禁止 分解・改造・修理はしない 発火したり異常動作して、火災・感電・けがの原因 ※トッププレートを取り外さない ※電源コードの直付けはしない	指示に従う 据付け部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する 当社指定部品を使用しないと、事故の原因
アース線 を必ず接続せよ アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事がD種接地工事を行う 漏電時に感電のおそれあり	指示に従う 電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事が施工し、必ず専用回線を使用する 接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因
指示に従う 200V・30A以上の専用回路と漏電遮断器を設置する この工事をしないと、配線部が異常発熱するおそれあり	指示に従う 据付けは、この「据付説明書」に従って、確実にを行う 据付けに不備があると、漏電・火災の原因

注意	
接触禁止 試運転中は、トッププレートや扉など高温部に触れない やけどのおそれあり	指示に従う ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使う 熱硬化性樹脂化粧板 (JIS K 6903) またはこれと同等以上のもの 耐熱性の低い材料を使用すると、変形の原因 ※ニス引きのものは変色するため、使わない

1-2. 使用部品(同梱品・別売部品)

■同梱品

1 上ルーバー 1個 	2 サイドカバー 2個(左右共通) 	3 取っ手 1個
4 取っ手取付ネジネジキャップ 2本 2個 	5 受け皿 1個 庫内にあります 	6 グリルあみ 1個 ※1 庫内にあります
7 排気カバー 1セット(2個) 	8 レンジグリルIH専用フライパン ※2 1式 庫内にあります 	9 説明書 取扱説明書 ... 1部 据付説明書 ... 本書 レシピブック ... 1部 レンジグリル活用ガイド ... 1部 ※2 保証書 ... 1部

■別売部品(ワークトップやキャビネットとの隙間が大きい場合にご使用ください)

10 隙間かくし上ルーバー 1個 	11 隙間かくし下ルーバー 1個
--------------------------------	--------------------------------

隙間かくし上ルーバー

品名	色	扉上面とワークトップの隙間(※3)
CS-ZTR	シルバー	23mm用
CS-ZTR-K	ブラック	

隙間かくし下ルーバー

品名	色	扉下面とキャビネットの隙間(※4)
CS-ZUR30	シルバー	30mm用
CS-ZUR30-K	ブラック	
CS-ZUR55	シルバー	55mm用
CS-ZUR55-K	ブラック	

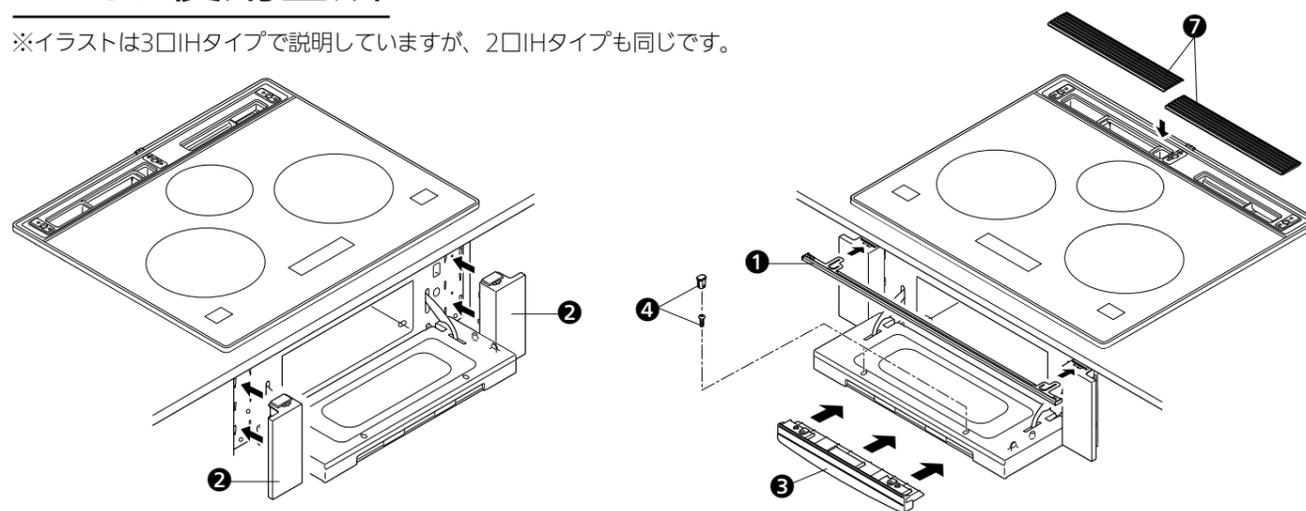
本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

※ 詳細は各別売部品添付の取付要領図をご覧ください。

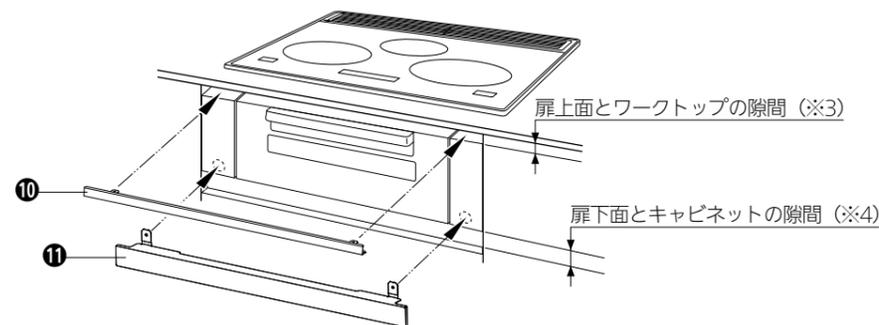
※1: 下記の機種は塗装部品となります。
RE-C321シリーズ・RE-C221シリーズ・RE-322SXR
※2: 同梱されているのは、下記の機種のみです。
RE-C321シリーズ・RE-C221シリーズ・RE-322SXR

1-3. 使用箇所

※イラストは3口IHタイプで説明していますが、2口IHタイプも同じです。



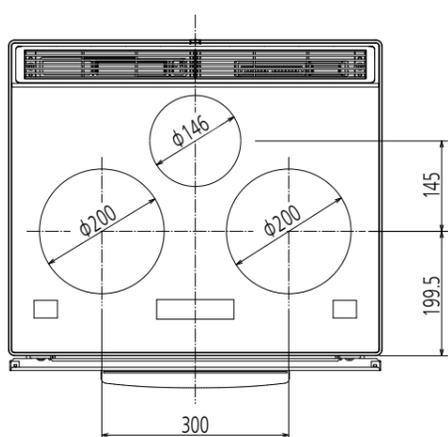
■ワークトップやキャビネットとの隙間が大きい場合、別売部品をご使用ください。



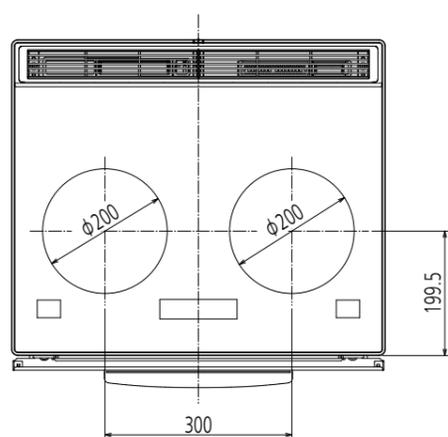
1 - 4. 外形寸法図 単位：mm

■上面図

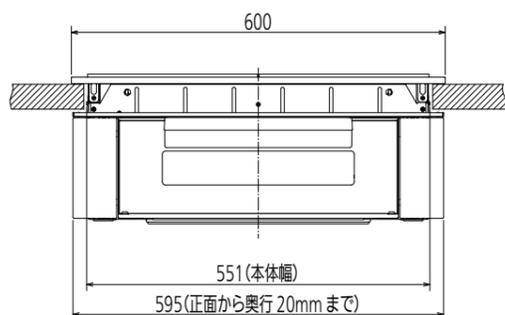
〈3口IHタイプ〉



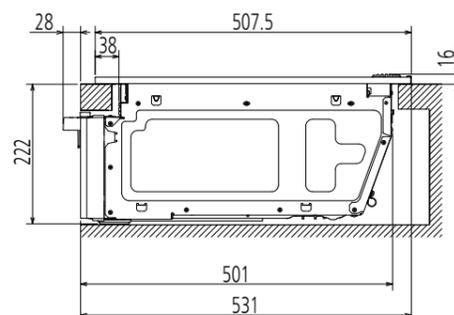
〈2口IHタイプ〉



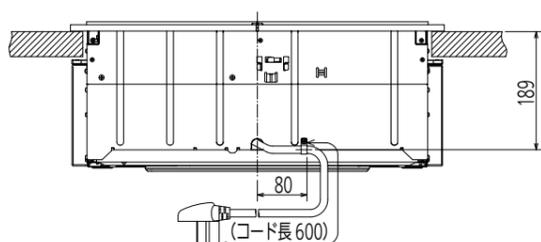
■正面図



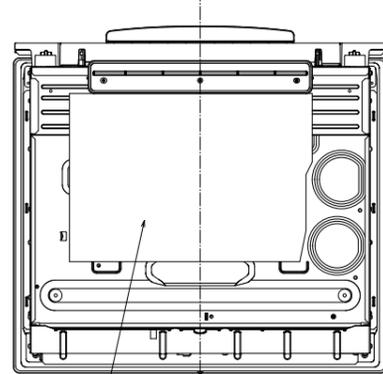
■側面図



■背面図



■底面図



この部材は外さない
(断熱材)

1 - 5. 据付け場所の選定

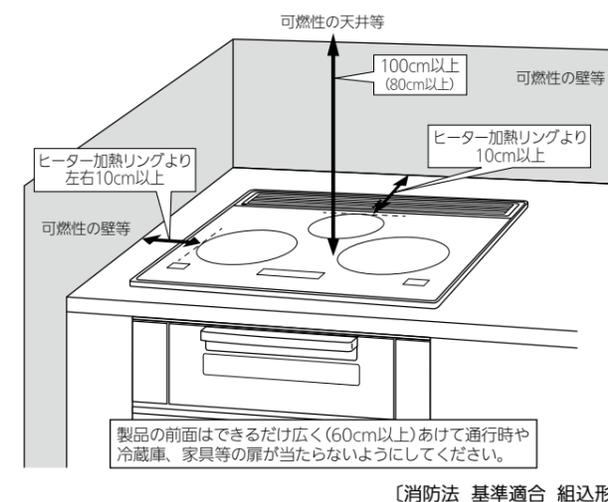
火災予防条例、電気設備技術基準に従って据付けしてください。

壁・天井等からの距離

■周囲が可燃性の壁の場合(防火構造壁以外)

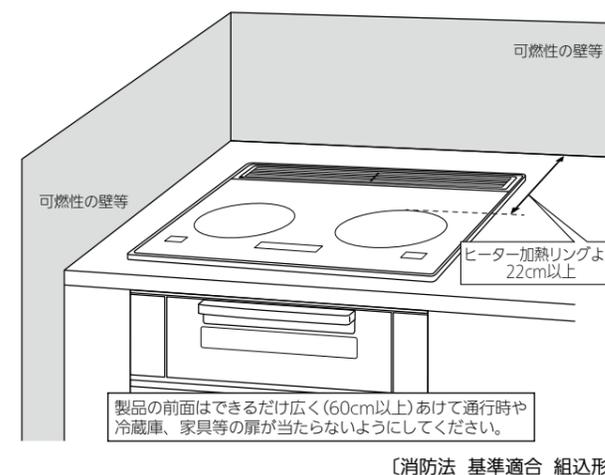
- ※()内は上方がレンジフードファン及び不燃材の場合
- ※周囲の壁が不燃材または防熱板を取り付けた場合：本体外枠から0cm以上
- ※防熱板を設けたとき、機器周辺の可燃性の壁温度が100℃を超えない断熱性を有すること(室温35℃において)

〈3口IHタイプ〉



〈2口IHタイプ〉

※上方向、左右方向は3口IHタイプと同一距離



お願い

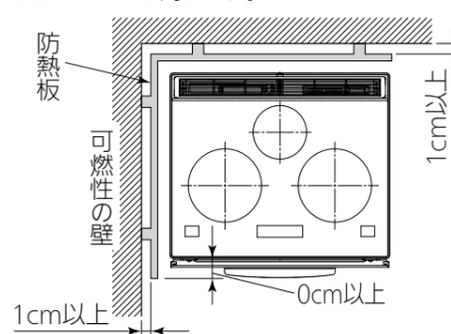
製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金具(メタルラスなど)とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。(電気設備技術基準で危害なきよう据付けすることが定められています)

■可燃性の壁から、上記の距離を離して据付けできない場合

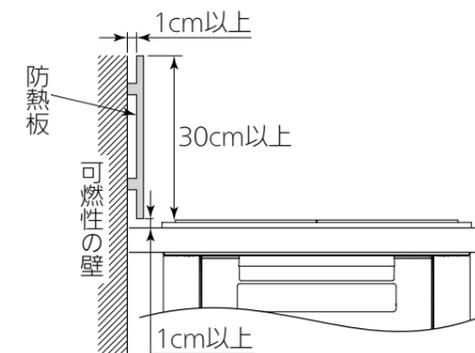
- 防熱板を取り付ける

■上面

※イラストは3口IHタイプで説明していますが、2口IHタイプも同じです。



■正面



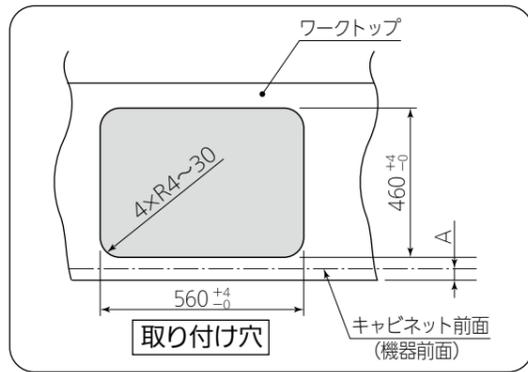
据付け前に

電気工事

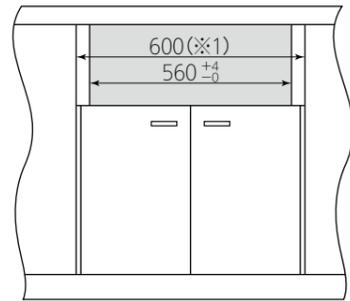
据付け

試運転

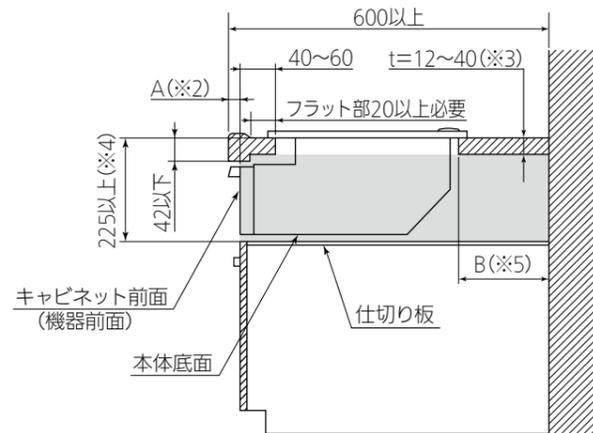
1 - 6. 据付け制約 単位:mm



■部分への突起は不可



正面図

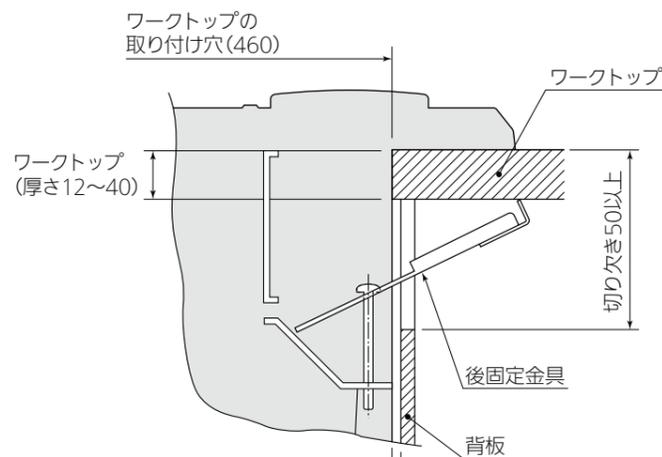


側面図

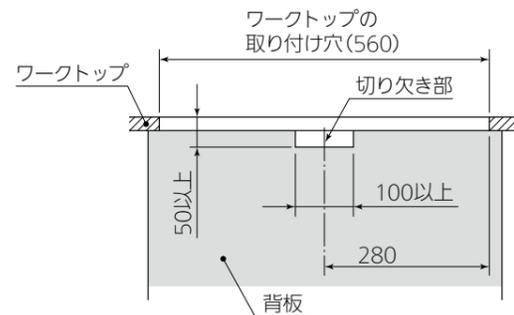
- ※1 据付けの際、前面より奥行20mmまでは600mm幅の空間が必要です。
- ※2 A寸法はワークトップ前面とキャビネット前面(機器前面)との差です。
- ※3 ワークトップの厚みが薄いと(12mm未満)、後固定金具が固定できません。その場合は当て木を添えてください。11ページ 手順 2 参照
- ※4 本体底面をふさがないように225mm以上の高さが必要です。
- ※5 B寸法はワークトップ取り付け穴と背板の寸法で、80mm以上あればパナソニック製の露出コンセント(WK36301B)が使えます。

キャビネットの後方に背板がある場合

■ワークトップの取り付け穴と背板の寸法(※6)が40mm以下の場合、後固定金具が通るように背板に切り欠きを設けてください。



【正面断面図】



ワークトップの取り付け穴と背板の寸法(※6)
40mm以下の場合には背板切り欠き

2 : 電気工事

警告



アース線を必ず接続せよ

アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士がD種接地工事を行う

漏電時に感電のおそれあり



指示に従う

電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が施工し、必ず専用回路を使用する

接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因

2 - 1. 専用回路と漏電遮断器の設置

■電源にブレーカー付きの専用回路を設置する

- 200V・30A以上の専用回路を設置する
- 電源は必ず「単相3線式 200V」を使用する
- 三相200V(動力電源)には絶対に接続しないでください。(故障の原因)
- 屋内配線用電線は、線径φ2.6mm以上のものを使ってください。
- ご使用のコンセントに適用電線の指示がある場合は、それに従ってください。

■漏電遮断器を必ず設置する

【推奨漏電遮断器】 定格電流30A、感度電流15mA

パナソニック製： BJS3022N(HBモジュール)

BSHE23022(コンパクトタイプ)

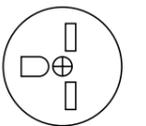
2 - 2. コンセントの設置 単位:mm

■電源コンセント …………… 単相定格250V・30A(一極接地用)

※推奨コンセント パナソニック製：WK36301B(露出型)
WF3630B(埋込型)

- 電源コードの直付けは、絶対にしないでください。
- ※直付けは製品の改造となり、故障や損傷の場合、保証期間内でも有料修理になります。

コンセント
差し込み形状



接地2P30A

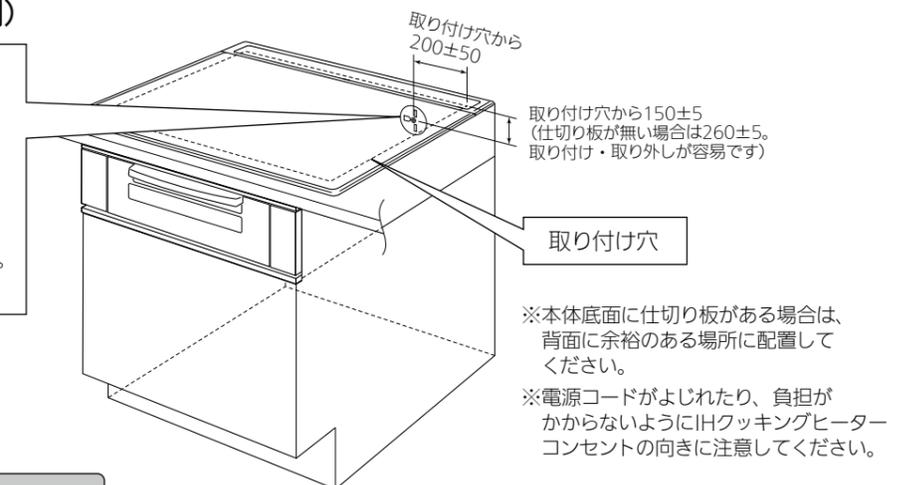
■推奨コンセントの設置位置(例)

システムキッチン背面の壁のこの位置にコンセントを設けてください。



【コンセントの向き】

※コンセントの向きに注意してください。コードがキャビネットにあたります。



※本体底面に仕切り板がある場合は、背面に余裕のある場所に配置してください。

※電源コードがよじれたり、負担がかからないようにIHクッキングヒーターコンセントの向きに注意してください。

警告



分解禁止

分解・改造・修理はしない

- 発火したり異常動作して、火災・感電・けがの原因
- ※トッププレートを取り外さない
- ※電源コードの直付けはしない

※システムキッチンに据付けする場合

システムキッチンに据付けする場合は、システムキッチンに添付の取付・設置説明書に従い、十分な取付強度を確認の上、コンセントを取り付けてください。

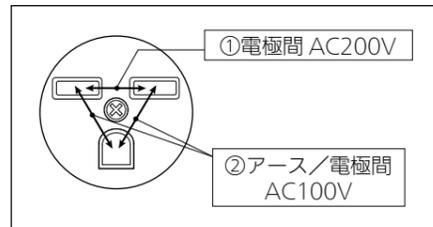
3：据付け

※イラストは3口IHタイプで説明していますが、2口IHタイプも同じです。

3-1. 据付け前の準備 **重要**

1 正しく単相200V配線がされているか確認する

- テスターで測定する
 - ① 電極間 AC200V
 - ② アース/電極間 AC100V



3-2. 本体の据付け

■ガス事業者への連絡をせずに、ガス工作物(ガス配管、ガスメーター、ガス栓等)を無断に撤去することは、法令により規制されておりますので、事前にガス事業者への連絡が必要となります。

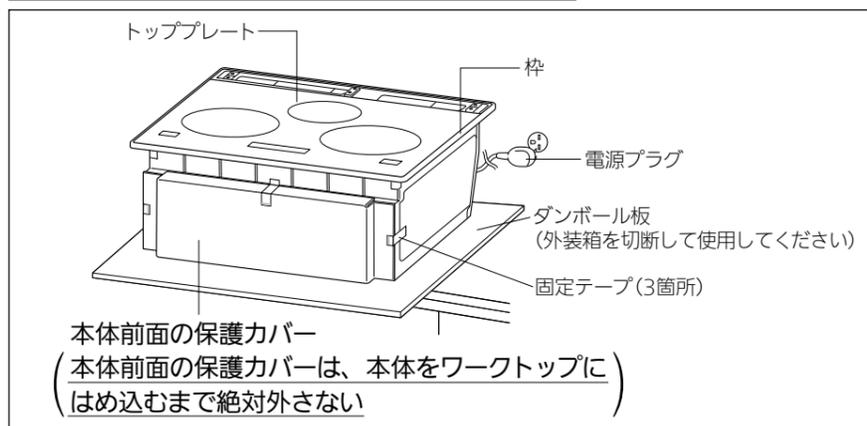
■据付け場所が、常に水平で安定していることを、必ず確認してください。

本体の据付け (ブレーカーを“切”にして、据付けを行ってください)

1 電源プラグを差し込む

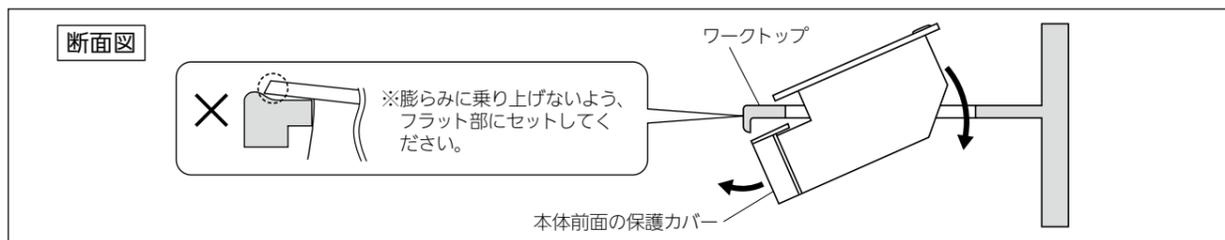
- 本体はトッププレートの枠を持ち、取り扱ってください。
- ワークトップに傷を付けないように包装用のダンボール板を敷いてください。

※トッププレートを外さないで据付けします。



2 ワークトップに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

- はめ込み時は、前面部をワークトップに当てないでください。
- 本体前面の保護カバーは、本体をワークトップにはめ込むまで絶対外さない。(扉の破損や塗装に傷がつく原因)
- テープ(ガラス落下防止用)を絶対外さない。(ガラスが落下する原因) **10ページ** 参照
- 本体挿入時に、電源コードを本体底面とキャビネットの間に挟まないように注意してください。(本体が浮いて隙間が生じます)
- トッププレートの枠裏側のパッキンがめくれたり、はみ出したりしないように注意してください。



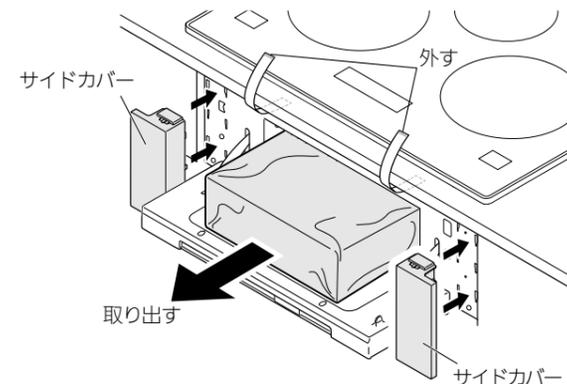
3-3. 同梱品の取り付け(1)

1 同梱品の取り出し

- 固定テープを外し、本体前面の保護カバーを取り外す
- 扉を固定しているテープを外し、扉を開ける
- 庫内にある同梱品を取り出す

2 サイドカバー(左右)を取り付ける

- 本体前面の差し込み口に、サイドカバーを取り付ける

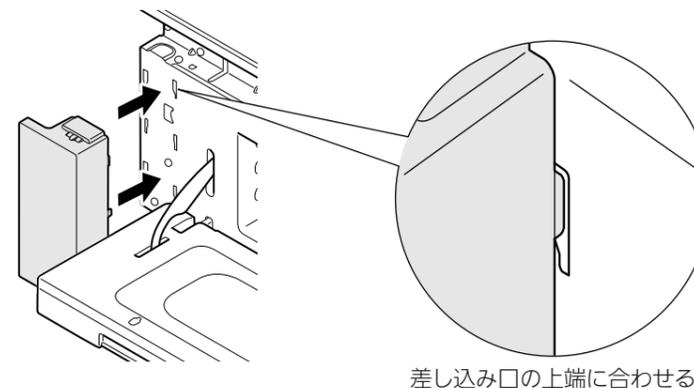


■サイドカバーの取り付け方

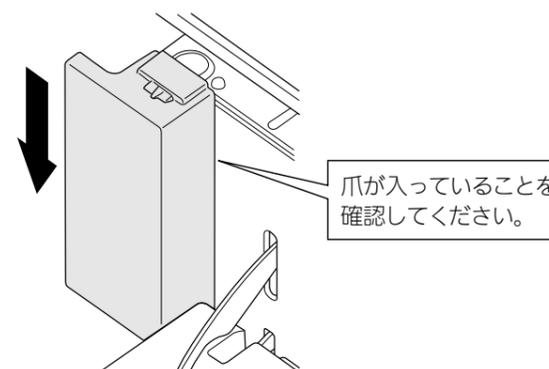
※イラストは本体左側で説明していますが、本体右側も同じ取り付け方法です。
※サイドカバーは左右共通です。

①扉を開ける

②本体前面の差し込み口上端に、サイドカバーの爪を差し込む



③本体にかかるく押し付けながら、下にスライドさせる



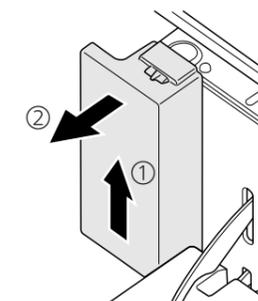
■サイドカバーを取り外すとき

※先に上ルーバーを外してください。

①上にスライドさせる

②手前に引く

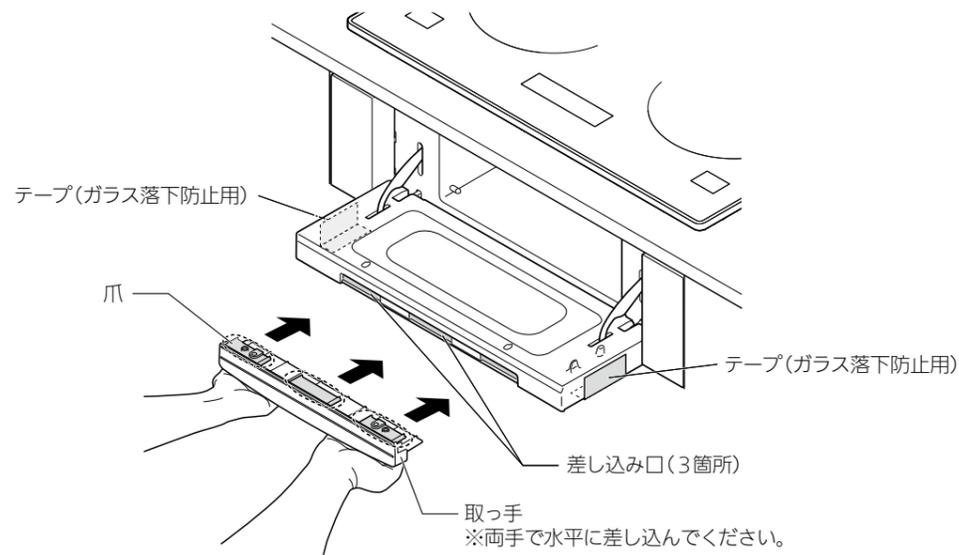
※無理に外そうとしないでください。
左右にひねると、サイドカバーの爪が破損します。



3 取っ手を取り付ける

①扉を開ける

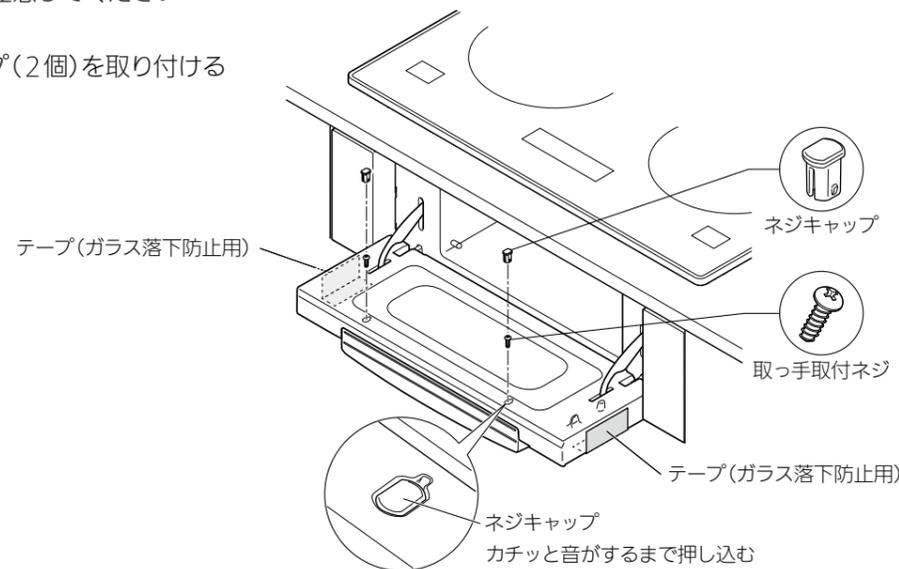
②扉の差し込み口3箇所に、取っ手の爪を奥まで確実に差し込む



③表紙に貼り付けている付属の取っ手取付ネジ(2本)で固定する

※電動ドライバーは使用せず、手で締めてください。
(ネジ山がつぶれて、締まらなくなるおそれがあります)
※傷つきに注意してください

④ネジキャップ(2個)を取り付ける

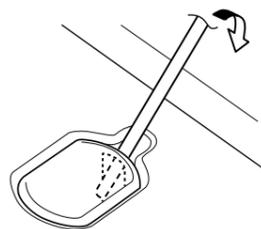


⑤取っ手取り付け後、両サイドのテープ(ガラス落下防止用)を外す

※本体をワークトップから出すときは、必ず取っ手を取り外してください。(ガラスの落下に注意)
(取っ手が傷付く原因)

■ネジキャップの外し方

●先端が細いもの(精密ドライバー等)を溝に差し込んで、取り外してください。



3-4. 本体とキッチンの固定

1 本体の位置を調整する

- ①キャビネットとサイドカバー(左右)の間隔を均一にする
- ②キャビネットの前面(扉面)に、サイドカバーの前面を合わせる

2 後固定金具を固定する

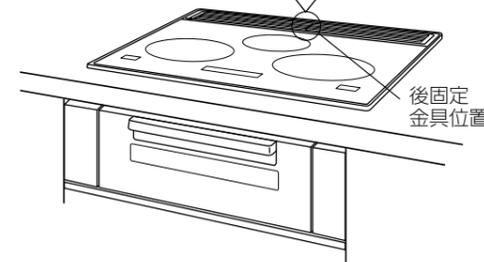
- 後固定金具でワークトップに本体を固定する
- ※ドライバーは、トルク管理のできるものを使用してください。締め付けすぎると、固定金具が破損します。

1. 後固定金具のネジをいったんゆるめ、ドライバーの先端を後固定金具の穴に差し込み、矢印方向へ移動させる

2. ネジを確実に締め付け固定する(締めつけトルクは0.8~1.0N・mとする)

ワークトップの厚みが薄くて、後固定金具が固定できない場合は、図のように当て木を添えてください。

両面テープ 当て木 12~40mm 後固定金具



3-5. 同梱品の取り付け(2)

1 上ルーバー、受け皿、排気カバーを取り付ける

- 本体側の差し込み口2箇所(サイドカバー上)に、上ルーバーを奥まで差し込む
- 受け皿をセットする
- 排気カバーを取り付ける

据付け前に

電気工事

据付け

試運転

3 - 6. 据付け後の確認

■据付けが完了しましたら、下表に従ってもう一度点検し、チェック欄に○印をしてください。不具合がありましたら、必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません)

確認項目		チェック
梱包材の取り外し	ダンボール・発泡スチロール・テープ類・ビニールシートなどの取り忘れがないか？	
同梱品の取り付け	サイドカバー(左右)・取っ手・上ルーバー・受け皿・排気カバー 取っ手取付ネジ・ネジキャップは、確実に取り付けたか？	
外観	トッププレート部のフレームに浮きがないか？ 本体前面に傷が付いていないか？	
電気工事	重要 アース接地工事(D種)が行われているか？ ※接地抵抗値は100Ω(低圧電路において、地絡を生じた場合に0.5秒以内に当該電路を自動的に遮断する装置を施設するときは、500Ω)以下であること。 ※ご不明な点は、販売店または電気工事店にご相談ください。 重要 漏電遮断器が設置されているか？	
後固定金具	締め付けされているか？	
試運転	12~14ページ「4：試運転」を行い、正常に動作したか？	

4：試運転

4 - 1. 試運転手順

試運転確認

■お客様立ち会いで試運転を行ってください。
据付け完了後、次の手順で内容を確認し、チェック欄に○印をしてください。

※イラストは3口IHタイプで説明していますが、2口IHタイプも同じです。
※試運転に使用する鍋は、 マークのある鍋を推奨します。

確認項目		チェック
1 ブレーカーを「入」にする		
2 電源 をピッと鳴るまで押し、電源を入れる	→ 電源ランプと中央液晶が点灯する	
※電源が入らない場合は、電源電圧が100Vの可能性あります。 8ページ「3-1. 据付け前の準備」手順 1 を再確認してください。		
3 各IHヒーターの動作確認をする		
①IHヒーターの上に、水を入れた鍋を置く		
左右IHヒーター		
※ここでは、左IHヒーターを使う場合で説明しています。(右IHヒーターも同様です)		
② を押す	→	
③ のどちらかを押す	→ 火力「4」で加熱が始まります。 水が温まることを確認する	
■確認ができたなら を押して、IHヒーターを切る		
※鍋を置かないで操作をすると、「鍋なし自動停止機能」が働き、火力ランプが点滅します。(約1分後に自動的に通電が切れる)		

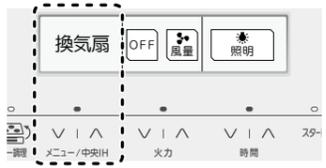
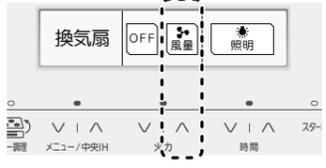
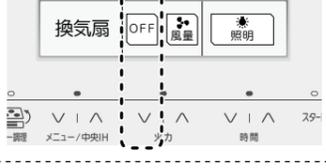
試運転確認(つづき)

確認項目		チェック
中央IHヒーター(3口IHタイプのみ)		
② のどちらかを押し、「中央IH」を選ぶ	→	スタートボタンを押すと中央IHの加熱を開始します。
③ を押す	→ 火力「2」で加熱が始まります。 	水が温まることを確認する
■確認ができたなら を押して、中央IHヒーターを切る		
※鍋を置かないで操作をすると、「鍋なし自動停止機能」が働き、中央IH動作ランプが点滅します。(約1分後に自動的に通電が切れる)		
4 レンジグリルの動作確認をする		
レンジの動作確認		
①受け皿の中央に、水200mL程度入れた容器(高さ8.5cm未満)を置き、庫内へ入れる		
② のどちらかを押し、「レンジ手動」を選ぶ	→	
③ を押し、1分に設定する	→	
④ を押す	→	終わったら、水が温まっていることを確認する
グリルの動作確認		
※レンジの動作確認後、扉を開けて庫内が冷めているのを確認してから行う		
② のどちらかを押し、「グリル」を選ぶ	→	
③ を押す	→	約1分後、庫内が温まっていることを確認する
■確認ができたなら を押し、 をピッと鳴るまで押し、電源を切る		
電源ランプと中央液晶が消える ※トッププレートや庫内が熱い間は高温注意ランプは消えません。		

試運転確認(つづき)

■レンジフード(換気扇)が連動タイプ(※1)の場合、以下を確認してください。

※イラストは3口IHタイプで説明していますが、2口IHタイプも同じです。

確認項目	チェック
①電源  をピッと鳴るまで押し、電源を入れる	
②  を押す	
③  を押し、「換気扇モード」にする	
④動作確認をする (確認したい項目へ進んでください)	
■風量を変えるとき  を押し切り替える	 押すごとに切り替わります。 [例] 「中」→「強」→「弱」
■停止するとき  を押す	
■照明を切/入するとき  のどちらかを押す	 押すごとに点灯/消灯します。(※2)
⑤レンジフードが作動している状態で、  を押し、IHヒーターを切る	レンジフードが一定時間作動した後、停止する (レンジフード設定による)
■確認ができたなら  をピッと鳴るまで押し、電源を切る	

※1 レンジフード連動機能がはたらかないときは、レンジフードの連動仕様が当社条件に合っているか確認してください。

(出力仕様：NECフォーマット 周波数38.0kHz)

※2 レンジフードの照明が点灯中にIHクッキングヒーターの電源を切っても、レンジフードの照明は消えません。

- 試運転後は、必ず電源ボタンを「切」にしてください。
- レンジフードによっては、レンジフードのリモコン設定が必要となりますのでレンジフードの説明書もご確認ください。
- 同梱品一式は、必ずお客様にお渡しください。
- 据付け時に電気工事が完了していない場合は、引渡し時に必ず試運転を行ってください。

据付完了
確認者印

4-2. レンジフード(換気扇)の連動設定手順

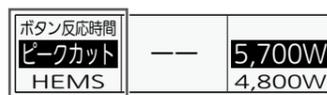
工場出荷時は、モード1に設定されています。モードの内容は、下記の手順 ④ をご覧ください。

- 1 電源  をピッと鳴るまで押し、電源を入れる
- 2  を押す
※  を押してから、約1分以内に手順 ③ の設定を始めてください。
- 3 左IHヒーターの  を約3秒長押しする
- 4  のどちらかを押し、設定したい「モード」を選ぶ
モード1：すべてのヒーターを停止すると、レンジフードが一定時間後に自動で停止する(レンジフードによって異なります)
モード2：すべてのヒーターを停止すると、レンジフードが停止する
モード3：IH操作と連動しない
- 5  を押す(設定完了)
※  を押さないと、設定は変更されません。

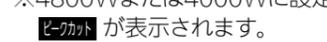
■設定が終わったら  をピッと鳴るまで押し、電源を切る

4-3. 総消費電力の切り替え手順

総消費電力(5700W、4800W、4000W)を切り替えます。(工場出荷時は5700Wに設定されています)

- 1 電源  をピッと鳴るまで押し、電源を入れる
- 2  を押し、 のどちらかを押し、「ピークカット」を選ぶ

- 3  のどちらかを押し、総消費電力を選ぶ

- 4  を押す(設定完了)
※  を押さないと、設定は変更されません。
[例]4800Wに設定したとき

[突沸注意] 加熱前にかき混ぜてください
※4800Wまたは4000Wに設定したとき
 が表示されます。

■設定が終わったら  をピッと鳴るまで押し、電源を切る

据付け前に

電気工事

据付け

試運転

4 - 4. お客様への説明

- (同梱の)取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。
特に「安全のために必ずお守りください」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- この据付説明書は、据付け後お客様にお渡しください。なお(同梱の)取扱説明書および保証書も必ずお客様にお渡しください。
- 物件などで使用者が不在の場合は、発注者(オーナー、ゼネコン)や管理人などに説明してください。

据付年月日	年 月 日
据付店名	
	TEL

お客様へ……おぼえのために、据付年月日、据付店名を記入されると便利です。

三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社

〒369-1295 埼玉県深谷市小前田1728-1